

2011.JAN

釣り人が創る逸品釣具 ぎあ・らぼ

お気楽Gear-labニュースレター第26号です。

あけましておめでとうございます！

年未年始の釣りはいかがでしたでしょうか？

私は、天気が悪かったので徹底してモノづくりにいそしんでおりました。2月3月の大阪と横浜のフィッシングショーに向けての準備で新製品の大きめに取っかかりかかっています。製作にかかると携帯電話も出ないことがあるので廻りからヒンシュクをいただいております。(～_～;))

実際、部屋は木工切削したり、ケミカル調合してモールド製作したりで手が離せない場合はどうしようもなく、仕事場はまるでオタクの世界なのです。

さて、このオタクの部屋からやっとなら世界へ飛び出していくこ

とになりました。

念願のGear-Lab U.S.Aが出来ようとしています。私は長いことアメリカが約束の地で、アメリカにGear-Labを作り出せるような人を探しておりました。

それが縁あって、ロスアンゼルスに法人を開設することになりこの一月に行つて参ります。この御縁に感謝感謝です。

日本の釣具は世界一だと思っていますので是非この拠点から新たなネットワークを作りたいとたくらんでいます。

さてとメキシコまで足をのばして釣りしてきます。>^_^<



旅暮らし四方山話。(その15)

旅をして一番の楽しみがその土地の料理ですね。そしてその土地の酒です。その料理やお酒がどこにいても違うのでネットで購入する料理より気分も味も大きな贅沢を味わえます。

私は居酒屋しか行かないイメージがよろうですが(苦笑)フレンチもイタリアンも大好きです。ところがちょっと困っているのは食事のマナーというより食べ方です。

例えば右のスープですが、西洋の食べ方としてよく言われるのが、手前から向こう側にすくって食べる…これって何か変だと私は思います。全然自然ではないのです。でもそれがマナーだと言われるとそれはオカシイと言いたくなります。なんでそんな七面倒くさいことをしなければ

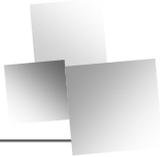


Gear-labは普通の釣具店にはない新しく夢のある逸品釣具を紹介し続けます。全国の熱心な人々と共に本当に良いものを世の中に出すことに真剣であり常識にとらわれない商品開発や逸品釣具を求めの方とのみチームを組んでいきます。

ならないのでしょうか。いえいえマナーは大事だということにはよく理解しています。日本で教えられる「西洋のスープの飲み方」はイギリスのことであって、フランスは全く逆になっています。

テーブルマナーと称して教えてくれるところもありますが、「西洋」に詳しい大家のオバチャマはザマス調で「西洋では食卓にヒジをのせませんように」とか「くれぐれもお食事の後で爪楊枝

はお使いになりませんように。あれは日本人だけがすることで…」と言われるが、パリではヒジをテーブルにムシャムシャやっているし、スペインでは誰もかれもメシが終わるといっせいに楊枝を使い出すと長年住んでいた友人が言います。私も子供のときからヒジはついて食べるなど言われてきたのですが、世界を知るとつまらないことに精一杯になっていたか何も知らない田舎者であったかが分かります。(右上につづく)



さて、「西洋とは」何なんでしょう。

アメリカとイギリスの違いも激しいのに同じ西洋なのです。確かにもともとヨーロッパの清教徒ピューリタンがアメリカ大陸に移住したことから同じイメージがついてまわるのですが、これがまるっきり違います。一言で言うといギリス人はアメリカ人を小馬鹿にすることが多いのです。

食べ方で言いますと、アメリカ人はステーキを先に全部切ってから一本のフォークで食べます。それを「マナーを知らない質の悪い人種だ」とイギリス人はバカにしています。そのイギリス人は私の知り合いなのですが、頭髪を細かい三つ組みにしてもう2年間も髪を洗っていないという輩です。私は「オマエの頭の方がよっぽどマナー違反だ」と言っています。

確かにアメリカ人の味覚はオカシイと私は思います。ステーキとコーヒーを一緒に口に入れるあの感覚は流石の私も目が点になります。(・・) ステーキを口に入れ込んでおいてコーヒーを一口飲み、ついでにサラダをつまみあげるといったぐあいに自然にやってのけるのです。

「美味しい？」と聞いたら「とても旨い！」と言います。彼らには私のニュアンスなんて全く分かりません。ただフランスに行ったら、みんな眼をむいて、この田舎者の礼儀知らずめ！といったふうに見られたと言っています。

食事のときに飲むものは、フランスではワイン、ドイツやデンマークではビール、
(右上につづく)

最強のプライヤー1月リリース

Gear-Labがこの一月に最強でカッコイイフィッシングプライヤーをリリースします。

#2~6サイズのスプリットリングを簡単に開閉し、超軽量の102g。そしてタングステンカット刃でPEラインはスパスパ切れます。どうぞお楽しみになさってください。



フィッシュグリップも準備中

魚を釣ったときに手を汚さないで魚を持ち上げるフィッシュグリップも準備中です。メバルやアジから真鯛、クロダイ、もちろんシーバス、5kg以内のヒラマサなら全く問題なく使用できるものです。これもコンパクトでとにかく構造がシンプルで壊れにくい。そしてやっぱりカッコイイというのが大事ですね。頑張ってブラッシュアップしています。

日本では当然お茶でしょう。台湾や中国のチャイニーズティー。同じアメリカ大陸でもメキシコに下ればコロナやセルベサスといったビールでしょう。

どこの国に行ってもその国民が好む飲み物、ホッと一休みするとき飲むものがあるのですね。さしずめこれを「国民飲料」としましょう。

国民飲料はアメリカでは大きなジョッキの50セントコーヒーですし、イギリスでは信じられないくらいに甘ったるい牛乳入りの紅茶。フランスならカフェオーレ、スペインならチョコレート、イタリアではエスプレッソ、ギリシャでは小さなトルコ風コーヒー、メキシコでは牛乳入りコーヒー……これが西洋なんですね。

西洋……という抽象的な言葉は日本人だけがもつ意識のようです。海外を旅行すると、そのように食に関しての常識が違いすぎて最初はその国に入ると戸惑い、なんでこの国は来る日も来る日もコーヒーばかり飲んでいるんだろうと、たまには紅茶もありワインもあるではないかと、一度はお茶も飲んでみたら？と変なこと考えています。しかし、住んでみるとそれが絶対無比の飲み物、いわば真理まで上昇してしまいます。そしてその真理なかで他の国を見てしまい、批判してしまうようになります。ひどいのはその真理を抱いて帰国することになり、故国のもろもろをその真理でもって快刀乱麻に切り捨てていくことをはじめるのかもしれない。

しかし、やっぱりそれでも海外に行くのはエキサイティングです。ルネッサンス人でありたい私は何でも飲んでやろう。

何でも喰ってやろう。と肉食草食なんでもござれのスタンスは当分死ぬまで続きそうです。>^_^<

株式会社ギアラボ

〒813-0016 福岡市東区香椎浜2丁目5-2-701

Tel 092-663-5196

Fax 092-663-5102

Mail NQE50210@nifty.com

このお気楽ニュースレターのバックナンバーは下記にございます。

<http://www.gear-lab.com/newsletter/main.htm>

Gear-labホームページ

<http://www.gear-lab.com>

毎月の新製品に追われ、全国を旅しながら、モノづくりと販売のお手伝いをしています。

お気軽にメールください。面白い釣具があれば全国どこへでも参上します！一杯呑みましょう。(～) 福山克義(ふくやまかつよし)

メール NQE50210@nifty.com

携帯 090-8406-9591



お気楽DEATCHこと福山でした